

事務事業名	報徳サミット事業				担当	教育委員会 文化課 文化財係		
政策名	B	学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり			増補版施策名			
施策名	5	文化財の保護と継承			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
関連個別計画					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠						<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和63年度～）		
予算科目	1.一般会計	10.教育費	4.社会教育費	2文化財保護費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
事業概要	二宮尊徳ゆかりの地であり、全国報徳研究市町村協議会に加盟している市町村により、全国報徳サミットを年1回、持ち回りで開催している。 サミット1日目：各市町村長等が参加して協議会総会、交流会を実施 サミット2日目：基調講演、アトラクション、各市町村長等によるパネルディスカッション等を実施 ・北海道豊頃町、福島県相馬市、南相馬市、大熊町、浪江町、飯館村、茨城県筑西市、桜川市、栃木県日光市、真岡市、那須烏山市、茂木町、神奈川県小田原市、秦野市、静岡県掛川市、御殿場市、三重県大台町							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動）		⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
31年度実績 ・第25回全国報徳サミット筑西市大会 11月8日 全国報徳研究市町村協議会総会・交流会 11月9日 基調講演、アトラクション、パネルディスカッション （大会宣言決議、次期開催地へ引継ぎ）		名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
2年度計画 ・第26回全国報徳サミット掛川市大会 現時点では開催見込みであるが、新型コロナウイルス感染症の状況により計画は流動的である。		ア 開催回数	回	1	1	1	1	1
		イ 全国報徳研究市町村協議会加盟数	市町村	17	17	17	17	17
		ウ						
		エ						
		オ						
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 市民		⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
		名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
		ア 真岡市人口	人	79,462	79,542	79,414	79,324	78,874
		イ						
		ウ						
		エ						
		オ						
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 二宮尊徳の業績を学び、郷土の歴史と文化に対する理解を深め、参加者同士の交流を深める		⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
		名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
		ア 市民参加者数	人	34	48	31	64	35
		イ						
		ウ						
		エ						
		オ						
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 二宮尊徳の業績を広めるとともに、郷土の歴史や文化への理解を深め、市民文化の向上に資する		⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
		名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
		ア 歴史や文化財に関心を持つ市民の割合	%	68.0	67.4	67.5	67.3	
		イ						
		ウ						
		エ						
		オ						
(2) 総事業費の推移		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0	0
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	384	140	356	130	528	
	事業費計(A)	千円	384	140	356	130	528	
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2
		延べ業務時間	時間	260	260	260	260	260
		人件費計(B)	千円	1,080	1,079	1,084	1,051	1,051
トータルコスト(A)+(B)		千円	1,464	1,219	1,440	1,181	1,579	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	昭和63年度に小田原市で第1回、平成8年度に掛川市で第2回を開催された以降、毎年1回二宮尊徳ゆかりの市町村が一堂に集っている。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	平成26年度には、真岡市で開催し、協議会加盟市町村間で災害応急対策活動の相互応援に関する協定を結んでいる。 期日：平成26年11月28日（金）から29日（土） 会場：真岡市民会館、ほか二宮尊徳ゆかりの史跡等 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大や感染防止対策により事業環境は大きく変化している。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	継続して参加したいとの要望がある。